

# ProMED-mail情報 2017年 4月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	麻疹 ヨーロッパ	2017年当初から4000人以上の麻疹流行。ワクチン接種率が低いヨーロッパ14カ国に感染流行。2015年、全世界で134000人以上の麻疹死亡がWHOに登録され、その大半は5才以下幼児。
27日	レジオネラ症 中国	パリジャンマカオホテルに滞在した3人の香港男性がレジオネラ症と診断。一人は危篤、一人は重症、一人は退院。ホテルのスイミングプールが感染源の疑い。
25日	マラリアワクチンRTS,S アフリカ	WHO/AFROは、2018年にガーナ、ケニア、マラウィで生後5~17ヶ月小児を対象に、フェーズ3臨床試験の計画。マラリアの死亡減少効果とワクチン安全性を検証予定。
20日	乳児ボツリヌス症 米国	米国では年間約100例の報告有り。土壌内クロストリジウム胞子の吸引が主な感染源で、また汚染蜂蜜も避けるべき。明らかな患者集積は稀。過去、中部アトランタ地区の集積例は、感染源が不明。
18日	エンテロウイルス 台湾	4月10~16日の1週間に419人のエンテロウイルス感染者が台北市内の救急病院で登録。非ポリオエンテロウイルス感染は5才以下の幼児で流行しやすく、重篤な合併症リスクあり、さらに死亡例あり。
14日	腸チフス トンガ	2017年1月以来11例の腸チフスをトンガ保健省が報告。流行を阻止するため、当局は公衆ホールのカヴァ飲料提供を一時禁止し、葬式などの集会での食事提供を一ヶ月間禁止する措置をとった。
12日	狂犬病 台湾	台湾は50年間狂犬病の清浄国であったが、2012年に3頭の狂犬病罹患ネズミアナグマを発見後、数百頭の狂犬病罹患動物(主にネズミアナグマ)の報告有り。3月27日、ネズミアナグマの唾液が眼に飛び散り感染した女性が、検査で狂犬病陽性。狂犬病免疫グロブリンとワクチン治療を受けて発症の兆候無し。
11日	乳児ボツリヌス症 日本	1ヶ月間1日に2回蜂蜜入りジュースを与えられた6ヶ月男児が死亡。男児の分泌物と蜂蜜からボツリヌス菌を検出。1986年以降、日本全国で30例以上の報告があり、過去には致死例なし。乳児ボツリヌス症は未熟な乳児消化管で増殖したボツリヌス菌毒素により発症。
8日	黄熱 ブラジル	2017年1月以降、ミナスジェライス州の流行が拡大。ブラジル全土の黄熱報告1589例中、1203例がミナスジェライス州。現在のウイルス媒介蚊はHaemagogusとSabethesであるが、大都市に侵入すればネッタイシマカが感染し、都市部で容易に流行する危険あり。
6日	腸管出血性大腸菌O121 カナダ	2016年11月から2017年2月までの間、ロビンフッド社製小麦粉による大腸菌O121食中毒患者が4州に及び、25人発症。6人は、入院治療して回復。ロビンフッド社製多用途小麦粉10kg袋をリコール回収中。
4日	梅毒、淋疾、クラミジア 米国	カルフォルニア州立大学フラトン校の疫学調査。2015年は学生2020人中クラミジア陽性102人、淋疾陽性13人、学生1510人中、梅毒陽性5人。2016年は学生2116人中クラミジア陽性165人、淋疾陽性26人、学生1498人中、梅毒陽性7人。過去数年間に性行為感染症が急増。
3日	グラヤノトキシン中毒 香港	シャクナゲを含むツツジ科の蜂蜜には、神経毒グラヤノトキシンが含まれることがあり、喫食後に腎不全、心不全を起こす危険有り。3月25日ネパール産蜂蜜を喫食5分後にめまい、息切れの症状で入院した37才男性患者を報告。トルコ黒海地域とネパール産の蜂蜜は注意。
1日	麻疹 イタリア	2017年過去3ヶ月間で1010人報告。90%はワクチン未接種。33%に1つ以上の合併症発生。41%は入院。113人は医療従事者。患者の平均年齢は27才。